

DVD紹介

◆人権関連

R5(2023)年4月現在

題名	時間	内容
「夕焼け」 ケアラー～だれもが人権 尊重される社会を～ ※令和4年度住民学習 テーマに基づいた人権啓 発ビデオ	35 分	この物語の主人公は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、小学校時代の担任(元ケアラー)との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。
「カンパニユラの夢」 ～超高齢化社会とひき こもり(8050問題)～ ※令和3年度住民学習 テーマに基づいた人権啓 発ビデオ	36 分	この作品は、二つの家族の視点で進行します。主人公の岸本麻帆はあることをきっかけに「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づきます。一方、20年以上ひきこもり状態にある谷口誠一とその両親は問題が長期化する中で、解決の糸口すら見いだせないまま苦悩しています。麻帆は谷口家の抱える問題に寄り添い、解決策を求め行動を起こします。急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることと認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくするとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。
「サラーマット」 外国人の人権 ～あなたの言葉で～ ※令和2年度住民学習 テーマに基づいた人権啓 発ビデオ	36 分	この作品の主人公・珠美は新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」と捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。
シリーズ映像でみる人 権の歴史 各15分～19分		第1巻: 東山文化を支えた「差別された人々」16分 / 第2巻: 江戸時代の身分制度と差別された人々 15分 / 第3巻: 近代医学の基礎を築いた人々 17分 / 第4巻: 明治維新と賤民廃止令 18分 / 第6巻: 日本国憲法と部落差別 17分 / 第7巻: 水平社を立ちあげた人々 17分 / 第8巻: ひとと皮革(かわ)の歴史 19分
あなたがあなたらしく 生きるために 性的マイノリティと人権 法務局人権擁護局	30 分	性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もがありのまま受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのが狙いです。性的マイノリティの入門編としてご活用ください。
家庭の中の人権 「カラフル」	3 1 分	このビデオでは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げました。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとしてお役立てください。 ※収録テーマ: ○他人の噂 ○子どもの就職、結婚 ○LGBT ○多様性を認めるカラフルな社会へ
家庭の中の人権 「生まれ来る子へ」	25 分	このビデオでは、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにある人権課題を取り上げました。家庭の中で、人権の尊さについて語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。

<p>その人権問題 わたしならどうする？家庭編</p>	<p>23分</p>	<p>人権の知識があっても、複雑な人間関係が絡み合い、自分が正しいと考える方を選択することが困難な場合がある。もしも登場人物の立場になったら自分はどうか行動するかを考える。○ジェンダー 「男は、女房と子どもを養う存在」と言う夫に「女を見下している」と言う妻。○いじめ 我が子がいじめられて心配な妻と「自分自身で乗り越える」という夫。○インターネットといじめ 悪口を書き込む娘を制止する母と「やめたら自分がターゲットにされる」という娘。○高齢者虐待 助けてあげたい嫁と「介護はきれいごとじゃない」という義理の兄。○DV 隣人を助けて妻と「余計なことはするな」と言う夫。○子ども虐待 子どもを虐待する友人と、気づいた妻。</p>
<p>その人権問題 わたしならどうする？地域編</p>	<p>36分</p>	<p>○障がい者 障がい者施設建設反対の署名を迫る隣人と、それに賛同したくない妻。○ホームレス ホームレスに退去してほしい隣人と、迷う夫。○外国人 「外国人はルールを守らない」と言う隣人と、孤立している外国人が気になる妻。○「性同一性障害」「性同一性障害」の家庭教師に戸惑う妻と「問題ない」と言う夫。 ○同和 妹の結婚相手が同和地区出身者、父を説得してほしいと頼まれる。</p>
<p>知りたいあなたのこと～外見からはわからない障害・病気を抱える人～</p>	<p>21分</p>	<p>外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといいます。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。</p>
<p>障害のある人と人権～誰もが住みよい社会をつくるために～人権教育啓発推進センター</p>	<p>33分</p>	<p>○障害とは？ ○障害のある人が直面する人権問題(事例と解説) ○誰もが住みよい社会をつくるためには 「心もバリアフリー」を中心に差別の解消に向けた取組を紹介しながら、私たちに何ができるのかを考えていきます。</p>
<p>ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～</p>	<p>34分40秒</p>	<p>隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。</p>
<p>はじめて認知症の人に接するあなたへ</p>	<p>19分</p>	<p>「症状についての正しい理解」と「認知症の人への接し方の基本」の2点に内容をしぼり、認知症についての基礎知識を学ぶ。 ○記憶障害の特徴 ○そのほかの症状 ○認知症の人の気持ち ○何度も同じことを聞かれたら ○「家に帰る」と言い出したら ○介護は合わせ鏡 ○町で認知症の人を見かけたら</p>
<p>認知症と向き合う</p>	<p>30分</p>	<p>認知症によくみられる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いたドラマ教材。認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていけるように。認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることを目的に制作。</p>
<p>認知症対策シリーズ「いつでも連絡してね～地域で認知症の家族を支える～」地域活動編</p>	<p>21分</p>	<p>日本では2025年に、65歳以上の約5人に1人が認知症患者になると言われています。認知症という言葉は知られていても、多くは「どのように接したら良いかわからない」という戸惑いのイメージが先行し、正しく理解されていない現状があります。さらに、早期に診断・治療を行って病気の進行を遅くすることもあまり周知されていません。認知症患者が徘徊し、行方不明になるケースも後をたちません。このように増加する認知症患者が安全に暮らしていくためには、家族だけで見守るには限界があり、地域全体が支え手となる必要となります。その場合、「地域住民の認知症への正しい理解」や「認知症に対する知識を基にしたノウハウが重要です。「地域社会がどのように認知症患者と家族を支えていくか」という点に着目し実例をもとにわかりやすく解説していきます。</p>

<p>外国人と人権 ～違いを認め、共に 生きる～ 法務省人権擁護局</p>	<p>33 分</p>	<p>このビデオは、外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会を上げるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、みなが住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学びます。</p>
<p>こんばんはⅡ 夜間中学ドキュメンタリー</p>	<p>37 分</p>	<p>「学ぶことは生きること。すべての人に学ぶ権利がある。」 基礎的な学びをしていないために、日常生活の何をするにも不自由であるだけでなく、自分はダメな人間だと思い込んでいた人が、夜間中学に出会う。人間として胸をはって生き抜くために必要な学びを、ここでつかもうと懸命に努力する人たちの記録であり、学ぶこと、生きることをあらためて問うものでもあります。</p>
<p>おひとりさまを生きる (あなたは老後をどのように 暮らしますか)</p>	<p>37 分</p>	<p>老後の「おひとりさまの暮らし」について11人の女性が選んだ暮らし方についてインタビューを交えたビデオです。</p>
<p>光射す空へ (若年性認知症・同和 問題・LGBT) 北九州市</p>	<p>32 分</p>	<p>2016(H28)年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が成立し「部落差別のない社会を実現する」ことを明記し、課題が示されました。また、まだ十分に認識されていない人権課題として、性同一性障害や性的指向における少数派の人々、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見もあります。このビデオでは、大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描き、誰もが人権を尊重され自分らしく生きていける社会について考えようとしています。</p>
<p>秋桜(コスモス)の咲く日 北九州市</p>	<p>34 分</p>	<p>このビデオは「目に見えにくい違い」の一つとして発達障害をとりあげています。発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えるための教材として制作されました。</p>
<p>探梅 (包み込む社会とは 困ったときはお互い 様) 北九州市</p>	<p>40 分</p>	<p>「困ったときはお互い様」。その気持ちが人を温かく結びつけ、助け合う社会へと導きます。私たちは「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、互いに違いを認め、支え合い、あらゆる人を包み込む社会をつくっていきたいと考えます。このビデオは北九州市が展開する「いのちをつなぐネットワーク」を取り上げながら「包み込む社会」に焦点を当て、人と人とのつながりや助け合いの根底となる人権尊重について考えてける作品です。</p>
<p>夢のつづき (人権全般、特に高齢 者の人権) 北九州市</p>	<p>40 分</p>	<p>人権全般、特に高齢者の人権について視点をおき、現代社会における高齢者に対する虐待や悪質商法などの人権侵害、認知症を患う高齢者や介護に疲れ果てた家族の問題、若者との交流を通して家族のふれあいなどの大切さを学び、生きがいをもって、夢を持って生きることの大切さを描いた作品です。</p>

※他にも数種類ありますのでご相談ください。